

Don Carlo

オペラ『ドン・カルロ』
(全5幕)

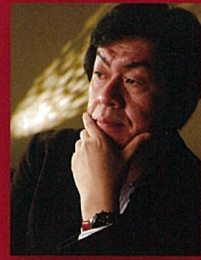
G.ヴェルディ 作曲
(原作 F.フォン・シラー)

演奏会形式 原語上演(字幕付き)

1560年頃、スペインの王子ドン・カルロの婚約者エリザベッタ(アンリ2世の娘)が、政治的な理由でカルロの父親フィリッポ2世と結婚することになり、そこから起こる不幸と慟哭が劇的に描かれる。物語は彼ら三人に、カルロに恋するエボリ公女、フィリッポ2世の臣下でありカルロの理解者であるロドリゴ、宗教裁判長などそれぞれの思いが絡めて展開される。

◆オペラの背景◆

16世紀のスペイン宮廷。ドン・カルロの祖父カルロ5世は宗教改革の息吹の中、ヨーロッパで広大な領地を支配していた。しかし、そうした統治に疲れ引退を決める。オーストリアと神聖ローマ皇帝の地位を弟に与え、スペインや他の領地を息子のフィリッポ2世に与える。フィリッポ2世は「無敵艦隊」と呼ばれるスペイン艦隊を率いて全世界にスペインの領地を作る。一方、フィリッポ2世はフランドル(現在のオランダ、ベルギー、ルクセンブルク周辺)に重税を課し、更にカトリックを強制する。このことから、フランドルは独立戦争へ進み、フィリッポ2世はフランドルの新教徒と通じていた息子カルロを幽閉した事実に基づいている。



ドン・カルロ
千代崎 元昭



ロドリゴ
伊藤 正



エボリ公女
西原 綾子



修道士
井元 孝弥



アレンベルク伯爵夫人(黙約)
末永 悦子



国王式武官
チョン・キヒョン



フィリッポ2世
武久 竜也



エリザベッタ
菊田 夏子



宗教裁判長
鈴木 健司



テバルド
山田 裕子



レルマ伯爵
丁子 充



天からの声
大坂 まり絵



クラリネット
井谷 一美



指揮
船曳 圭一郎



ピアノ
青山 洋子



チェロ
南口 真耶

2017 1.28 sat.

神戸市立灘区民ホール(マリーホール)

16時開演(15時30分開場)

入場料/3,000円(全席自由)

合唱/コーラレヴェルディ大阪&オペルンコールゼンガー
ステージング/水口 健次
字幕/藤野 明子
舞台監督/佐々木 彩乃
舞台監督助手/池本 真穂

- 主催/イタリアオペラ研究会 ヴォーチェ・ヴェルディアーナ
<http://voceverdiana.vpweb.jp>
- 共催/神戸市立灘区民ホール
(指定管理者 日本財財・文化律灘共同企業体)
- お問合せ/ムジカヴィーヴァ
Tel:078-436-1077 Fax:078-436-1078
E-mail musicaviva@ta2.so-net.ne.jp
神戸市立灘区民ホール Tel:078-802-8555



〒657-0832 神戸市灘区岸地通1-1-1 ※駐車場無し

- 交通アクセス●
- 阪神電鉄本線 大石駅より徒歩10分
 - 阪急神戸線 六甲駅より徒歩15分
 - JR神戸線 六甲道駅より徒歩15分